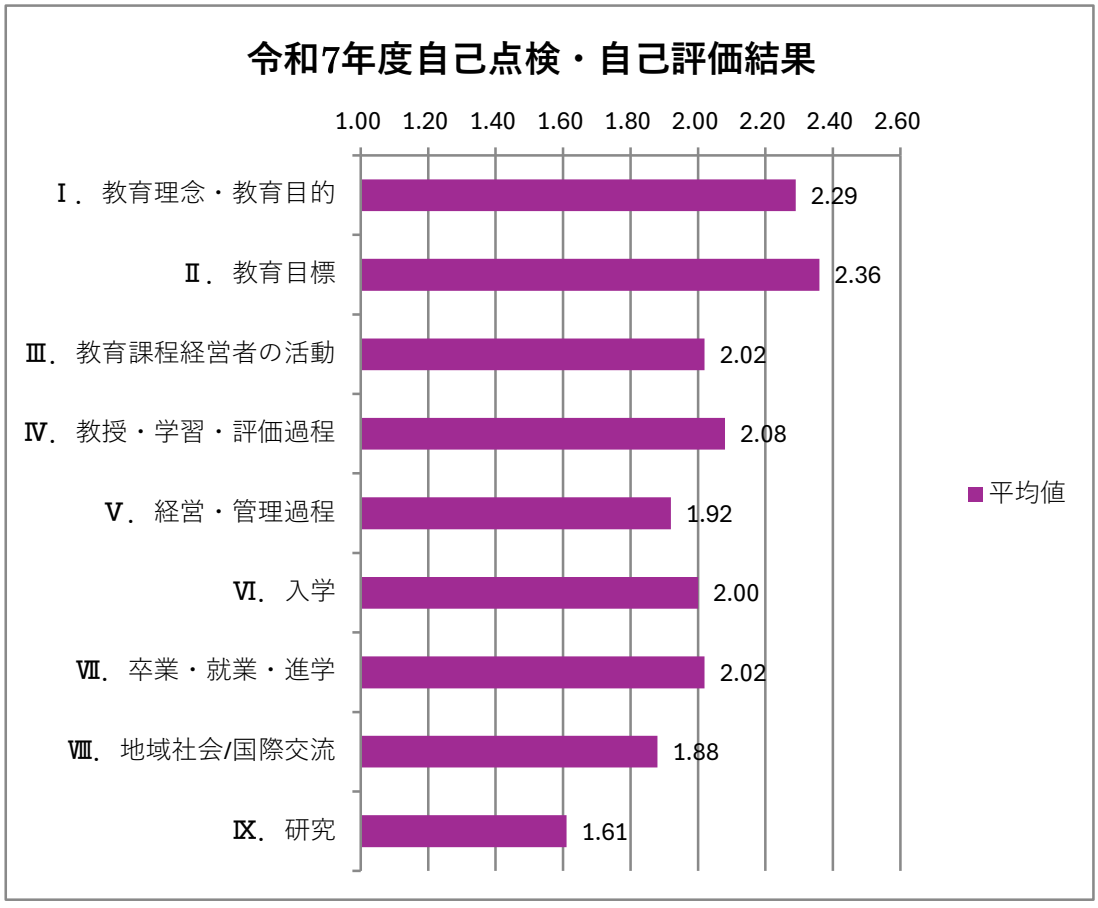
学校自己点検・自己評価

令和7年度

Ⅰ. 教育理念・教育目的	2.29
Ⅱ. 教育目標	2.36
Ⅲ. 教育課程経営者の活動	2.02
Ⅳ. 教授・学習・評価過程	2.08
Ⅴ. 経営・管理過程	1.92
Ⅵ. 入学	2.00
Ⅶ. 卒業・就業・進学	2.02
Ⅷ. 地域社会/国際交流	1.88
Ⅸ. 研究	1.61



学校自己評価〔令和7年度〕

		今後の課題
Ⅰ	教育理念 教育目的	教育理念・教育目的を教室に提示し、理解を深めていく。
Ⅱ	教育目標	新カリキュラム開始に伴い、整合性を検証しながら実施している。
Ⅲ	教育課程経営 教育者の活動	継続的な教育課程を検討し、実施していく必要性が高まっている。 自己研鑽、教育の質向上のためにも、研修等への参加を促していく必要がある。
Ⅳ	教授・学習 評価過程	教員間の講義、演習は継続的に連携を図れているため、さらに教授方法の質の向上につなげる必要がある。 外部講師の講義アンケートの公表を検討する。 チューター制の充実ならびに教員間の連携を図る必要がある。
Ⅴ	経営・ 管理過程	受験者数の減少に伴う影響が大きいため、学生数の確保に向けたあらゆる手段を検討し、実行していく。
Ⅵ	入学	入学選抜において、出題基準や時間など受験しやすい環境作りに努めている。
Ⅶ	卒業 就業 進学	卒業後の動向調査は実施できているが、就職先との連携は図れていないため、取り組んでいく必要がある。
Ⅷ	地域社会 国際交流	地域社会との交流方法の検討していく必要がある。
Ⅸ	研究	教育研究できる環境づくりが必要である。